

令和2年4月16日

新型コロナウイルスに関する研究開発のための対応について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言を受け、当機構では新型コロナウイルスに関する研究開発を支援するため、保有する共用施設や装置を優先的に提供することとしました。

具体的には、当機構がこれまで培ってきた創薬や健康評価等の研究に関するタンパク質の構造解析や軽元素の分析等の知見を活かし、関連する施設や装置の共用を実施いたします。現在、共用を停止している施設もありますが、新型コロナウイルスに関連する研究開発につきましては、可能な限り協力を行うこととします。

(共用施設の例)

- カルシウム等軽元素分析に強みを持つPIXE分析用加速システム「PASTA」
- 幅広いエネルギー範囲のイオンビームを利用できるイオン照射研究施設「TIARA」

その他、共用施設の詳細についてはそれぞれ以下のリンクを御覧ください。

量子医学・医療部門 <https://www.qst.go.jp/site/qms/1923.html>

量子ビーム科学部門 <https://www.qst.go.jp/site/qubs/1954.html>

当機構の保有する共用施設や装置について、新型コロナウイルスに関する研究開発への活用を希望される方は下記問い合わせ先まで御相談ください。

〈本件に関する問い合わせ先〉

量子科学技術研究開発機構 経営企画部 企画課

Email: qst-anticovid19[at]qst.go.jp※[at]は@に置き換えてください。